

# 報告

## 新幹線職場代表者会議を開催

### 東日本運転協議会

4月18日～19日、運転協議会は、第19回新幹線職場代表者会議を盛岡地方本部の会議室で開催しました。

主催者あいさつで木立議長は①検修外注化の施策が提案されて以降調査や学習を積み重ねている。引き続き各地方での取り組みの強化をてお願いしたい。また、今回の施策では新幹線職場は関係ないように見えるが、第2項で総合車両センターの委託の拡大の中に、仙台総合車両センターが入っており、また資材・倉庫の外注化では新幹線職場を含むとなっていることから、予備品や資材調達などに問題が出てくるのではないか。決して無関係ではないので、議論を広げてほしい。②この間新幹線の輸送障害が増大している。今年だけでも一般のダイヤ情報に掲載されたものか23件にもものぼっている。最高水準の技術と商品が危機に瀕しているのではないか。今日の議論でも深めてほしい、とあいさつがありました。

続いて準備をいただいた盛岡地本齊藤委員長から12月の青森開業の現状の報告と歓迎のあいさつを受けました。

東日本本部から情勢報告と仙台総合車両センターの現状報告を武田組織部長から受けて、各職場か

ら職場の組織状況と仕事のあり方、技術継承などの報告を受けまし

た。特徴的なものでは、①新入社員のライフサイクルで1箇所2日から3日程度で職場を回されているは、技術の習得が難しいの、②E5系以降の新制車両の教育が不足していて作業が不安、③新型車両との併合には問題はないのか、などの意見が活発に出され、まとめとして木立議長から昨日、今日で出された意見を要求化し、会社に申し入れてもらうように東日本本部に要請していくとの発言を受け、来年は東京地本管内で開催することを申し合わせて終了しました。

(文責教宣部 武笠)

